

3年進学講演会

日時：令和3年5月20日（木）7限

場所：体育館

講師：鈴木 康祐氏（駿台予備学校）

「大学入試と心構え ～第一志望合格を目指して～」

今回は駿台予備学校の鈴木康祐氏をお迎えし、受験生として知っておくべき知識や学習の方法について、具体的な数値を挙げながらお話をさせていただきました。

1 大学入試の現状

受験人口のピークは1992年で、現在はその54%。しかし、難関大の志願者数はあまり変わらない。一方で31%の私立大学が定員割れしている。大学に入学すること自体はそれほど難しくない。昨今、安易に妥協したり、不本意に入学したりする者が増加している。「入れる大学」ではなく「入りたい大学」に進める力をつけよう。



2 大学入試のポイント

① 制度変更期の平均点は高くなる

センター試験から共通テストになり、平均点が下がると予想されたが、実際はそれほど下がらなかった。しかし、油断は大敵！1979年の第1回共通一次試験の時も1990年の第1回センター試験の時も平均点は高く、次の年から下がっている。皆さんが受験する共通テストも易しいとは限らない。

② 今こそ第一志望合格のチャンス

2021年度は共通テストの初年度で、しかもコロナウイルスの影響もあり、多くの受験生が慎重で弱気な出願傾向だった。それは考え方を変えれば、難関大に合格するチャンス。積極的にチャレンジしよう！

3 合格に向けた学習

① 高校の授業を大切に

大学が求める力は「基礎的な知識」とそれを「有機的に結び付ける応用力」。難問は差がつかない。標準や、やや難といった問題で差がつく。高校の授業を大切にし、教科書を徹底的に理解しよう！

② 第一志望合格に向けて

模試の結果は現時点での位置。これでいいと思ったら絶対にそれ以上にはならない。模試は自分の弱点を発見し、答案作成力を養成するために利用しよう。高校後期の模試は志望校選定の目安になるが、本当の勝負は入試当日、最後まで諦めずに頑張ろう！